2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	作業療法研究法Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	403号室
担当教員	石橋 康信 (OT学科専任教員)	実務経験とその関連資格	教育修士(専門職) 星槎大学大学院教育実践研究科客員研究員			

《授業科目における学習内容》

臨床における自身の専門性を探求する上で、研究は価値ある活動である。今回、授業を通じて、研究の概念規定から理解していき、事例を通して課題探究活動を経験し、具体的な自身の研究への指針となるために学んで行くものである。

《成績評価の方法と基準》

研究計画書の発表(46%)、研究発表(50%)、平常点(準備・態度)4%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

作業療法研究法マニュアル(一般社団法人日本作業療法士協会)　必要な参考書は各教員から説明を行う

《授業外における学習方法》

教科書の通読、各グループにおける研究活動の進行状況の確認

《履修に当たっての留意点》

作業療法における研究の必要性を理解し、楽しく研究をして下さい。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。	教科書	講義と復習
		各コマにおける授業予定	研究とは何かを学ぶ。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。	教科書	講義と復習
		各コマにおける授業予定	研究に必要な知識・情報を学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.事例を通して、情報の整理を経験する。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	事例をしっかり読み込み、イメージを図っていく。(情報を整理する。)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	2.事例を通して、情報の整理を経験する。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	事例をしっかり読み込み、イメージを図っていく。(評価項目を整理する。)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	3.事例を通して、情報の整理を経験する。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	事例をしっかり読み込み、イメージを図っていく。(ADL情報を理解し、整理する。)		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	4.事例を通して、情報の整理を経験する。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	事例をしっかり読み込み、イメージを図っていく。(全体像を把握する。)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	5.事例を通して、情報の整理を経験する。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	事例をしっかり読み込み、イメージを図っていく。(統合解釈を深める。)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討から考えられる研究課題を抽出する経験を重ねる。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	自身が興味を有した内容を整理し検討を深める。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	設定した研究テーマに対して活動を経験していく。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	各先生から出されたテーマについて選択し、自身で研究を進めていく。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	設定した研究テーマに対して活動を経験していく。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	各先生から出されたテーマについて選択し、自身で研究を進めていく。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	設定した研究テーマに対して活動を経験していく。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	各先生から出されたテーマについて選択し、自身で研究を進めていく。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	設定した研究テーマに対して活動を経験していく。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	各先生から出されたテーマについて選択し、自身で研究を進めていく。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究成果を発表する。	教科書	事例紹介と検討
		各コマにおける授業予定	学会形式で発表を経験する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究成果を発表する。	教科書	発表
		各コマにおける授業予定	学会形式で発表を経験する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	統括	教科書	講義と復習
		各コマにおける授業予定	研究への指向性を高める意識を確認する。		